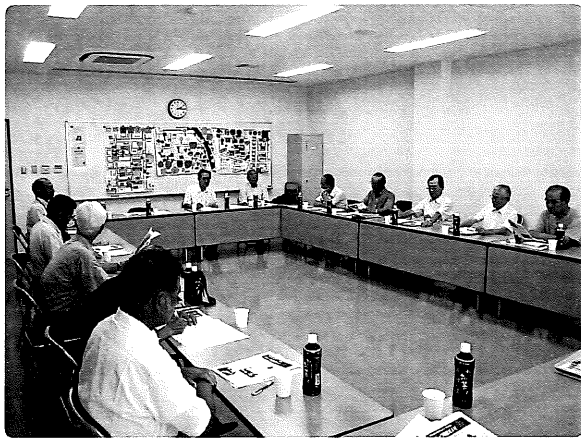


元総社地区 地域づくり協議会だより

○ 発行 会長 岡田 穆
○ 編集 広報委員会
○ 事務局 元総社公民館
Tel. 251-2243

第1号 2010年(平成22年)10月 発行



発刊にあたって

元総社地区地域づくり協議会
会長 岡田 穆

元総社地区地域づくり協議会は、平成二十年に市のモデル地区に指定され、検討委員会を経て、昨年の四月にスタートいたしました。

活動内容は地域の皆さんとの絆を深め「安全で安心して生活を送るための街づくり」、歴史と文化を礎として「未来へ向けたふるさとづくり」、さまざまなふれ合いの場を通しての「交流の場づくり」をテーマに進めてまいりました。

活動にあたりましては、

○ 歴史と伝統・環境保護部会 (二十四名)

○ 安全安心な暮らしづくり部会 (二十七名)

○ 交流の場づくり部会 (三十三名)

の三部会により、それぞれ各地区から選出された企画運営委員が中心となって取り組んでおります。

この地域づくり活動から、三つの部会テーマが達成されることにより、地域の皆さんの「絆」がより一層深まり、安全安心な住みよい街づくりとなるよう進めてまいりますので、皆さま方の一層のご支援とご協力をお願いいたします。

◎ 協議会の役員構成

| | | |
|-----|-------|-------|
| 会長 | 岡田 穆 | (八区) |
| 副会長 | 石井 允 | (二区) |
| 副会長 | 金井 宣夫 | (鳥羽東) |
| 書記 | 小池 郁雄 | (問屋) |
| 会計 | 奥野 博 | (三区) |
| 監査 | 井野 健二 | (一区) |
| 監査 | 徳安 陽子 | (五区) |

○ 専門部会

【歴史と伝統・環境保護部会】

部会長 城田博巳 (五区)

副部会長 都木周彌 (一区)

【安全安心な暮らしづくり部会】

部会長 城田徳太郎 (五区)

副部会長 伊藤 渉 (四区)

【交流の場づくり部会】

部会長 竹内英厚 (十区)

副部会長 奥野 博 (三区)

【広報委員会】

委員長 金井眞治 (八区)

委員 高橋正雄 (八区)

委員 大関恭一 (鳥羽西)

委員 瀬下孝行 (四区)

協議会からのお知らせ

○ 今年の文化祭で協議会の活動

状況を展示いたします。

期日 十月二十二日～二十四日

○ 元総社地区地域づくり推進大会

期日 十二月十日(金)

○ 三世代子交流郷土かるた会

期日 来春 二月二十日(日)

詳細は元総社公民館報でお知らせします

何れも会場は元総社公民館です

歴史と伝統

環境保護部会

部会長 城田博巳

「歴史と伝統・環境保護」部会では、平成二十一年四月二十一日の第一回部会を皮切りに、二十四名の委員の方々と事業内容について協議・検討を重ね活動を進めてまいりました。

ご存知のように、この元総社

地区は、古代、上野国こうずけのくにの国府庁の在った所、さらに蒼海城の興亡、江戸秋元侯の時代、明治以降は生糸の生産の地と、多くの有形・無形文化財に恵まれ、歴史的、伝統的行事も取り組まれて来ました。

こういった貴重な歴史や伝統を生かすための周辺環境を保護し、子々孫々に伝えていくことは、私たち大人の責任でもあり、地域的課題でもあります。今般の「地域づくり」は、まさに『温故知新』の具現化と言えるでしょう。

昨年度の部会としては、先ず「地域づくり」は、自分たちの住んでいる地域を知り、理解す

ることからと考え、各町内を順次歩いてみる「地域めぐり」から始めました。



地域めぐり

- 九月十二日 (土) 一区・二区
参加者 三五名
- 十月十日 (土) 三区・四区
参加者 五五名
- 十一月七日 (土) 鳥羽 東・西
参加者 四六名
- 三月十三日 (土) 七区・八区
参加者 四二名
- 四月十日 (土) 九区・十区

参加者 五〇名
五月二十二日 (土) 五区・間屋
参加者 五三名

六月十二日 (土) 六区
参加者 四〇名

合計七回で、延べ三二一名の多数の方々が参加されました。

また、三世代交流による、地域理解の試みとして「元総社郷土かるたのつどい」を、初めての試みとして実施しました。

この「かるた」は、昭和五十八年(1983年)に制作され、元総社地区全体の歴史、文化、風俗が読み込まれている大変優れた郷土かるたですが、最近はその地域の人たちに触れる機会が少なくなっていました。

今年二月十四日(日)に実施された、「郷土かるたのつどい」には、各自治会から二十四チーム、百名以上の小中学生、親、高齢者の方々が参加し、賑やかに楽しく行われました。

一位は七区B、二位は五区A、三位は三区Aと五区Cでした。三月には、皆さんの家庭にお配りした「元総社歴史マップ」を作成しました。

今年度(平成二十二年度)中には、これまでの「地域めぐり」の成果を生かし、各町内の主だった名所、旧跡を紹介するガイドブック的なものを制作する計画があります。

その他「元総社郷土かるたのつどい」は、継続の要望も多く、今年度からは協議会全体として取り組まれる予定です。



郷土かるたのつどい

安全安心な

暮らしづくり部会

部会長 城田徳太郎

(1) 部会と勉強会の開催

平成二十一年度は部会を七回開催しました、そのうち七月十七日(金)に防災(自然災害)の勉強会、八月十日(月)には防犯(人為的災害である防犯)の勉強会を実施しました。

これらの勉強会を基に、部会で防災、防犯の協議を行い、さらに意見書を提出してもらい、それを集約しました。



部会員の自主防災研修

(2) 協議事項のまとめ

部会の協議をきっかけとして元総社地区の十三自治会で自主防災組織の設立、体制整備の気運が高まり、すでに組織を設立している自治会が九地区、二十二年度中に設立を準備している自治会は四地区となり、全自治会に設置されることになりました。

(3) 部会の今後の活動

地域安全マップ作りを全自治会で取組むため、モデル地区



大友町 安全マップ作成

として、大友町自治会で七月十八日(日)公民館ホールに集合し、前橋警察署、県の県民防犯推進室、市の安全安心課に指導をしていただきました。

大友町の育成会を中心に各種団体七十人が通学路や、公園の危険場所を現地調査し、公民館ホールに戻り安全マップを作成しました。



大友町 安全マップ説明会

最後に子供たちが『人通りの少ない所など危険な場所がわかった、今後は気をつけて行動したい』と発表しました。

部会では九月六日(月)に元

総社公民館で地域安全マップ作りの説明会を、各指導者を招き開催して十三地区全体で作成することを目指して活動を進めてまいります。

平成二十二年度の安全安心な暮らしづくり部会の計画

- ① 全自治会の自主防災組織の構築により、地区ネットワーク作りを進める
- ② 警察、消防等へ出向き防犯、防災等の自主研修を行う
- ③ 安全、安心マップの作成
- ④ 防災リーダー研修会の開催



大友町 安全マップ完成図

交流の場づくり部会

部会長 竹内英厚

平成二十一年六月十九日元総社公民館ホールで、元総社地区地域づくり協議会設立総会が開催されました。

総会後直ちに各部会にわかれ第一回の「交流の場づくり」の会議をホールにおいて行いました。

すでに地域づくり推進委員会の中で二つの事業を実施の方向で話し合いが進められており、協議会では実施について具体的な話し合いがなされました。

「交流の場づくり」事業

一 ふれあい・いきいきサロンを全自治会で開催。

二 三世代交流ランドゴルフ大会を全自治会で開催
将来的に元総社全区で大
会開催に発展させる。

部会では一と二の事業を各
区で構築し実施に至るまでど
の様な方向性を提示していっ
たらよいか意見を出しあいま
した。

六月～十月はサロン立ち上

げ会議を中心に進め、既に実施されている一・三・七・八・十の各区から昨年度の実施状況を資料として提供、未構築地区の参考としてゆく。

十一月～三月は各区三世代ランドゴルフ大会実施について会議を進めるなど部会の方向性をはっきりさせ、意見交換へと進みました。



2区 三世代 ランドゴルフ大会

先ず一と二をスタート出来る区は、今年度中に企画立案を

して実施開催をお願いする、但し無理な構築を要請すると、二兎を追う者一兎を得ずになる可能性が十分に考えられるので、各区にあった実情での構築をお願いする事で意見がまとまりました。

しかし新しいものを全地区に構築して実施して行くならば、良いものでありたいと思

いから。
一のサロンについては前橋市内でも特に高齢化が進んでいる元総社の地域性を視野に入れて、高齢者が一人でも多く出席し積極的に交流を深め、生きがいを見つけるにはどの様なサロンの運営をしていったらよいか。

二のランドゴルフについては少子化、核家族化により家庭内はもとより地域での子供から大人、はたまた高齢者との接触が薄れている昨今、スポーツを通じて交流を図っていくにはどのような取り組みをしていったらいいのか、積極的な意見が交わされました。

この第一回の会議が「交流の



10区 さわやかサロン 絵手紙

場づくり」部会の以後の根幹となり、現在開かれる部会は情報交換が主な議題となっています。

一のサロンは全区の協力と努力により、二十一年度中に構築され、二十二年四月には全区でスタート実施されています。

二のランドゴルフは少子化と他地区への通学などにより、小学生がいらない、または極端に少ないなど問題点が見られ、元総社全地区参加での大会開催は危ぶまれています。